

## 第2回西尾幡豆のグランドデザインを創る有識者会議 会議録

- ・日時：平成21年11月17日(火) 13:30～16:00
- ・場所：西尾市役所2階 22A 会議室
- ・出席：(委員) 小島誠、高須芳光、平岡将暢、柴田高広、磯貝総一郎、  
鳥山欽示、服部憲明、鈴木正昭、長坂正志、加藤洋一、  
稲垣敏子、鈴木茂、牧野匠、河隅彰二  
(事務局) 西尾市 小野田部長、榊原課長、筒井主幹、大内主事  
一色町 平岩主幹  
吉良町 近藤課長  
幡豆町 深谷課長  
合併推進プロジェクトチーム 齋藤主査、岩瀬主査
- ・欠席：(委員) 岡田明美、福田利郎

【敬称略】

### 1 小島会長あいさつ

### 2 協議事項

- ・西尾幡豆のグランドデザインのタイトルについて
- ・西尾幡豆のグランドデザインの基本目標について(構想内容)

#### 【タイトル案】

- ・今ここに新たなスタート 豊かな自然と文化が息づき活力あるまち西尾
- ・豊かな自然と文化が息づき 活力ある新生西尾
- ・自立した圏域、ずっと住みたいまち、西尾幡豆
- ・住みたくなるまち、いつまでも住みたいまち
- ・思いやりあふれるまち 西尾
- ・行ってみたいところが住みたい所、住んでるうれしさのある街なんです。ここは、
- ・幸福指数日本一の町 ハッピータウン西尾 GCH
- ・新西尾市創造！ 融合ビッグバンで未来を創ろう！
- ・美しい海と緑豊かな、歴史深い街
- ・豊かな自然を活かし、人を大切にする活力に満ちた産業、文化都市を目指して
- ・人と自然に優しい歴史あるまち西尾
- ・人・自然を慈しみ 想像力あふれるまち
- ・『新しい西尾幡豆の創造』17万都市・160km<sup>2</sup>・30分圏の輪に活力を
- ・歴史と創造のまち

#### 【基本目標に関する委員からの主な意見】

- 『目標1』地域基盤(交通ネットワーク・災害に強い町)
- ・名鉄西尾線の西尾駅又は福地駅までの複線化(JR通勤通学者を名鉄に呼び戻す)

- ・高規格道路、幹線道路の整備（名浜道路、名豊道路4車線化、南北道路、衣浦岡崎線4車線化、衣浦蒲郡線4車線化、西尾幡豆線）
  - ・歩道と車道、自転車道も整備された老人子供にも優しい道づくり
  - ・公共交通機関へのアクセス強化
  - ・名鉄西尾・蒲郡線の存続
  - ・次世代の車への対応や、新たな公共交通網の考え方を取り入れた道路整備
  - ・高齢化社会に優しい交通ネットワークの整備
  - ・緊急車両が迅速に動けるような整備が必要
- 
- ・東海、東南海地震に備え防災ネットワークの活動強化
  - ・地域コミュニティを充実し、協働による災害に強いまちづくり
  - ・海岸線の護岸整備、河川堤防の保全強化
  - ・災害ボランティア組織の育成、編成強化
  - ・住民との協力関係を構築し非常時の共助のための情報提供体制の確立

『目標2』 保険・福祉・医療（子育て・高齢者・障害者）

- ・基幹病院の強化、
  - ・中核病院としての市民病院の拡充、夜間や休日の救急医療体制について地域の医療機関との役割分担と連携を充実
  - ・産科医院の充実
  - ・佐久島の島民が安心して医療が受けられる体制の確保
- 
- ・子育て支援の拠点設置や人的ネットワークの構築（パパ、ママ教室）
  - ・安心して妊娠、出産できる環境
  - ・保育園の充実（早朝保育、延長保育、病育保育、学童保育、24時間保育）
  - ・保育所、保育園の待機児童をなくす
  - ・子育てアドバイザーや登録ベビーシッター制度などの充実
- 
- ・入所型高齢者施設の充実整備
  - ・高齢者の地域でのコミュニケーションづくり
  - ・高齢者を後押しする市民組織、地域で支えあう体制づくり
  - ・高齢者の地域活動に参加できる機会の拡充、活躍する場を
  - ・一人暮らしの高齢者への支援活動
  - ・生きがい対策の充実
  - ・特別老人ホーム、老人保健施設、居宅介護サービスなどの充実と人材確保のための教育、就業支援の方策
- 
- ・障害者の自主支援、障害者が働ける社会、事業の創設
  - ・障害者施設の確保、充実

- ・障害者の社会参加を容易にするバリアフリーのまちづくり

『目標3』次世代の人材育成・文化・教育・スポーツ（学校教育・生涯学習）

- ・児童、生徒の優れた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた心豊かで、たくましい子供の育成
- ・自分達の地域について学ぶ環境づくり
- ・子供たちにまちづくりに関する教育、指導
- ・郷土を知り、郷土を誇れる、郷土を愛する学び、人づくり
- ・地域の歴史や文化、産業や産品をいかした、子供たちが地域に誇りを持てる教育、食育を推進

- ・誰もが、自由に学習機会を選択し、学ぶことが出来る生涯学習社会を構築する

- ・文化活動の拠点としたデータバンク的施設の充実
- ・全国各地へ情報発信、情報交換、地域の指導やPRを行い、文化・芸術の向上を図る

- ・公式野球場などを備えた野外スポーツ施設、総合運動公園の整備
- ・充実したスポーツ活動が出来る環境づくり
- ・スポーツの開催による地域のPR
- ・生涯スポーツの環境整備、推進
- ・各地域の特性を活かした様々な団体をネットワーク化し、市民が自ら選び活動できる場と情報を提供する。総合スポーツ公園を整備し各種サークルの活動の場を充実する

『目標4』生活環境

- ・防犯ネットワークの強化
- ・「自分たちのまちは自分たちで守る」犯罪防止、交通事故防止の推進。老人会、町内会、PTA、女性の会、商工会・業界で組織の確率、各々ができる活動の推進
- ・交通安全教育の推進
- ・人を思いやるやさしい人を育てる教育を。犯罪の起きない対策
- ・消防団の育成・指導

- ・太陽光発電、ソーラーパネルの推進（干潟を利用した発電など）
- ・環境ボランティア活動の支援
- ・グリーンベルト、植樹、美化活動グループの連携
- ・アダプトプログラムを活用した公園、校庭の緑化推進
- ・河川環境と海の保全
- ・環境問題について積極的に取り上げ、若い世代から関心を高める教育を
- ・すべての学校に太陽光発電を導入。三ヶ根山頂、佐久島に風力発電所を建設

## 『目標5』産業振興

- ・三河湾国定公園国定公園としての地の利を活かした海岸線・山の観光資源を図る
- ・佐久島の自然を活かした活性化、港の新設、渡船の充実
- ・佐久島の特色ある島おこしにより活性化と定住促進を図る
- ・沿岸道路整備と潮干狩りを大いにPRし、地元ブランドに成長させる
- ・西尾の城下町、吉良の遺跡、一色の大提灯などを活かした歴史、ロマン道路として全国にPR
- ・地域に根ざした大イベントPR(大茶会、西尾大名行列、大提灯まつり、仁吉まつり、鳥羽の火祭り)
- ・国宝、岩文庫など日本に誇れる資源のPR
- ・西尾茶、うなぎ、せんべいなど特産を活かした食事、西尾・吉良の歴史と宮崎温泉、佐久島を盛り込んだツアー。宿泊客、日帰り観光に三河湾クルージングPR
- ・三ヶ根山、こどもの国、島など資源の有効活用
- ・佐久島から一色魚広場、吉良ワイキキビーチ、梶島、寺部海岸、前島、沖島、マリナーこどもの国、三ヶ根山など一体的な観光、自然を活かした開発
- ・あさり、大あさり、岩ガキ、うなぎ、とらふぐ、車えびなどブランド化
- ・茶・苺・カーネーション、バラ、あさり、うなぎ、えびせんべい等の更なる地域ブランド確立を図る
- ・豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、三河の海と大地からの恵みである新鮮で安心出来る農水産物をPR
- ・一色さかなセンター、さかな村、道の駅にしお岡ノ山の集客とブランドのPR(抹茶、うなぎ、あさり、カーネーション、えびせんべい等)
- ・日本一のブランドと観光をセットし、SeeからDo観光に切り替え、交流人口の増加を図る
- ・地域文化や伝統を活かした商店街、新商品のPR、イベントによる特色を活かした店づくり
- ・魅力ある特産物の創造
- ・地産地消の店舗、花あふれる町づくり、三河湾の夕日など観光リピーターを確保
- ・各地域のもつ歴史・文化と三河湾の豊かな恵み、地域の特産物、物づくりのノウハウを組み合わせ、連携させることで、交流人口を大きく伸ばす。そのことが、商業、農水産物の振興につながり、若者の定住を促す。若者が増えれば労働力の確保も容易になり、新たな企業誘致を可能とする
- ・観光及び生活関連の産業を育成することが、次世代の産業となる。三河湾、うなぎ、アサリなどの海産物、えびせんべいなどの海産加工品、トマト、きゅうりなどの豊富な農産物、地域ブランドの抹茶。ものづくり現場に触れる「産業観光」と風光明媚な三河湾、歴史を活かし情報発信。地元産品を使ったレストラン、お土産品が人気を呼べば、観光及び生活関連商品が全国に発信でき、全国市場で売れる商品に育つ

- ・「訪れたいまちに住みたいまち」西尾幡豆の温暖で製品の豊かなイメージが定住人口を増やし、観光及び生活関連産業を育成することが自立した生活圏を作り、住みたいまちを実現する
- ・食育を日本一に、食育が発展すれば子供、老人の健康につながる。食育の安全がブランドとなり、定住にもつながる
  
- ・積極的な先端産業誘致を図る
- ・工業地帯の創出、雇用の増大を図る

### 3 その他

- ・今回の議論を踏まえ、追加意見、タイトルの修正がある場合は、11月30日までに事務局に連絡をするということで委員の同意を得た。

(以上)